

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/02/06号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需要不安で70ドル台前半まで軟化

NY原油先物相場は、1バレル=73ドル台前半まで下落した。需要環境に対する警戒感が維持される中、下値模索の展開になった。特段の新規材料は見当たらなかったが、春節の連休明け後の中国経済の先行き不透明感、米国などの利上げによる世界経済の減速懸念が、上値を圧迫した。非鉄金属など他の産業用素材市況も需要不安を織り込む動きを見せており、原油相場は75ドルの節目を完全に割り込む展開になった。

2月1日に石油輸出国機構（OPEC）プラスの共同閣僚監視委員会（JMMC）が開催されたが、政策調整の勧告などは行われなかった。中国の需要拡大期待、ロシア産の供給不安などが浮上しているが、国際原油需給に与える影響には不確実性が強く、現時点で政策調整の必要性は認められなかった。一方、西側諸国は2月5日から始まるロシア産石油製品に対する上限価格設定で合意した。ディーゼル油が1バレル=100ドル、燃料油が45ドルを上限に取引が制限される。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（1月27日時点）は、原油が前週比414万バレル増、ガソリンが258万バレル増、石油精製品が232万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

下げ過ぎ感の強い価格水準、押し目買いの有無が焦点に

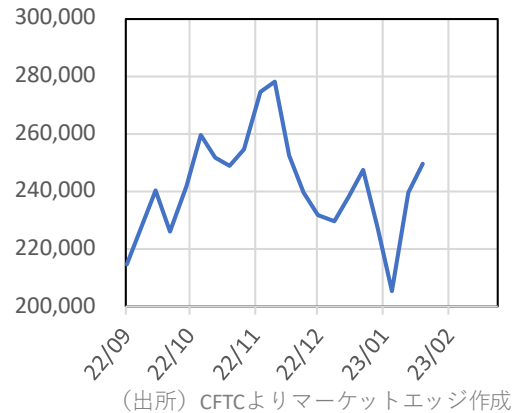
需要不安を背景に価格水準が切り下がっているが、明確な根拠は見当たらない。中国では春節後の経済正常化が急がれており、石油需要に対しても上向きの刺激が加わり易い。国際通貨基金（IMF）が2023年の世界経済成長率見通しを約1年ぶりに引き上げるといったサプライズもあった。世界的に株式相場も安定をみせており、原油などの産業用素材市況のみが需要不安を織り込んでいく展開には違和感が強い。2月7日には米エネルギー情報局（EIA）月報が公表されるため、ここで強気の需要見通しが再確認されると、地合が改善する可能性がある。

米国では、石油リグ稼働数の急減が続いており、昨年9月16日以来の低水準になっている。これ以上の安値だと、シェールオイル開発に深刻な障害が発生する可能性がある。また、70ドル水準では米戦略石油備蓄（SPR）向けの原油購入の動きも想定される。

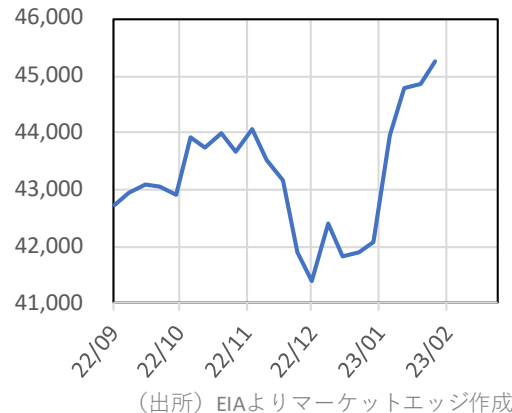
また、西側諸国の対ロシア制裁は原油から石油製品を対象を広げている。供給に何等かの混乱がみられると、短期需給ひっ迫リスクが押し目買いを誘う可能性もあろう。「需要の拡大見通し」と「供給不安」で80ドル台前半まで値上がりしていた時と比較して、需給環境や見通しに大きな変化は生じていない。

一方、米原油在庫が増加傾向にあることには注意が必要。例年と比較して製油所向け原油需要が伸び悩んでいる。6週連続の増加で累計3,445万バレルの在庫積み増しが行われている。更に在庫の大幅な積み増しがみられた際には、下振れリスクが高まる。

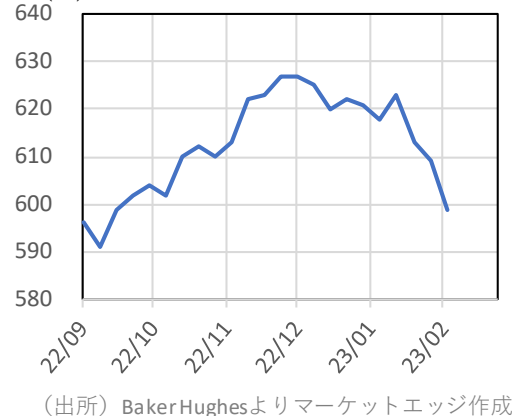
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

